

令和7年度子ども議会本会議

開催日 令和8年(2026年) 1月16 (金)	会議時間	開会 午前 10時00分 閉会 午前 11時50分
会議場所 役場庁舎3F 町民ホール (議場)	記録者 こども未来課こども未来係 集落支援員 松田 ありさ	
出席者：田中町長、山本副町長、片岡教育長、総務課係長、財政係長、消防庁舎整備室長、企画環境課長、企画環境課参事、税務課長、町民生活課長、保健福祉課長、農政課長、国営農地再編推進室長、商工観光課長、商工観光課参事、都市建設課長、上下水道課長、上下水道か参事、総合教育課長、総合教育課参事、給食センター長、こども未来課長		
広 報：澤田係長		
教 委：学校教育課 松尾、CS 池田		
傍 聴：23名		

議会内容

<開会行事>

1. ニセコ町議会議長あいさつ(青羽議長)

おはようございます。今ご紹介いただきました議長の青羽と申します。多分皆様方はまだ冬休みの最中なのかなと思います。お正月楽しい思い出いっぱいできたことでしょう。

今日は子ども議会ということで、声をかけていただきまして誠にありがとうございます。皆さまご存じのとおり、ニセコ町、ここは昔から観光と農業で発展した町でございます。最近ではパウダースノーを求めてたくさんの外国人、インバウンドと言うのですが、そういった方がたくさん来て賑わいを創出していただいております。大変ありがたいことだと思っています。

しかし、人手不足や住宅不足など、こういった問題もニセコ町は今抱えているんですということを理解してほしいなと思います。皆さま日頃から学校でお友達とお喋りしながら、こんな施設があれば良いな、楽しくなるよなとか、そういったものがあるかと思います。要望でもなんでも良いと思います。自分の言葉ではっきりと大きな声で質問されると良いかなと思います。皆さま方はニセコ町の宝物です。今後も勉強やスポーツに励んで活躍されることを期待申し上げて挨拶いたします。今日はよろしくお願いいたします。

2. 子ども議会議長・副議長・議員の紹介

議 長：ニセコ小学校6年 マッケイ 瑠生

副議長：ニセコ小学校5年 クレイドン 花

議 員： 近藤小学校4年 尾尻 春花

ニセコ小学校5年 前川 旺太

ニセコ小学校5年 小口 雄正

ニセコ小学校5年 西口 陽樹

ニセコ小学校5年 高橋 風輝

ニセコ小学校5年 手老 楓花

ニセコ小学校5年 浅川 桃百

ニセコ小学校5年 長沼 八重

近藤小学校４年 村松 律佳
ニセコ小学校５年 二瓶 彩来
ニセコ小学校５年 湯浅 すみれ
ニセコ小学校５年 佐藤 茉里花
ニセコ小学校５年 岡田 美乃里
ニセコ小学校５年 清水 みちる
近藤小学校４年 千葉 さら花
ニセコ小学校５年 二唐 研
インターナショナルスクール５年 長谷川 愛和
インターナショナルスクール４年 山口 慧
ニセコ中学校１年 桑原 謙周

３．町への提案事項について

（１）ニセコ小学校５年 クレイドン 花・近藤小学校４年 尾尻 春花

「音の管理」について

クレイトン議員

尾尻議員：最近、ニセコに観光客が増えて家を建てる人が増えており、家の近くでも新しい家を建てていて、工事の音がとても迷惑になるときがあります。また、大音量で音楽を流して音モレもたびたびあります。

また、工事の際に森林を壊すことが大変増えています。それに加えて、大型車がスピードを出して土を巻き上げていくのが迷惑になっています。これらの管理はどうなっているのでしょうか？

都市建設課長：おはようございます。クレイトン議員と尾尻議員の質問にお答えします。

ニセコ町では、観光に来る人が増えたことで、新しい家やアパートなどを建てる工事也非常に多くなっています。そのため、工事の音が大きかったり、音楽がうるさかったり、森の木が切られてしまったり、大きなトラックが速いスピードで走って土埃が出たりして、みなさんが困っていることもよく分かります。

ニセコ町では、こうした工事があるときに、国や北海道、ニセコ町の法律を守る決まりがありますので、ニセコ町で行われる工事については現場の確認はおこなっておりますが、今後回数を増やし騒音等のルールが守られているか、現場に確認に行きたいと思います。ただ、毎日のように確認に行くのは人数的にも厳しいので、皆さんも気付いたことがあれば役場に教えていただけると助かります。どうぞよろしくお願いします。

マッケイ議長：再質問はあるか

クレイトン議員・尾尻議員：とくになし

町 長：おはようございます。ニセコ町長の田中でございます。改めてよろしく願いいたします。
今のご質問議員の質問に少し補足をさせていただければと思います。

工事の関係が非常に多いというのは、今課長からも説明があったとおりで、街中ですか郊外も含めて今、ニセコは非常に、そういう意味では他の、近隣の町村と比べても、ありがたい面も含めて工事が多い地域の1つかなという風に思っております。今、町がそういう意味では成長している段階かなと思います。

これだけ多く工事をしていても、なかなかまだまだ住宅が足りないとか、なかなかお店をやりたくてもお店がないといったような状況もありますので、町としては歩みを止めず引き続き発展していけるように、尽力していきたいと思っております。

その一方で、今回ご質問いただきました工事のことですか、あるいは大型車の土ぼこりの件については、課長からもありましたが非常に大切な観点かなと思っています。

町が変わっていくからこそ、皆さんが暮らしやすいと思ってもらえるような、そんな観点も両方が大事になると思っております。

一方で、役場あるいは工事をしている事業者の皆様も、今なかなか人受けが十分にいるかと言われれば、そうではないような状況でもあります。

ですので、ぜひ皆さんから、気になる点あるいは工事のことで、ちょっとそこはどうかかなということがあれば、是非、まずは役場の方にできれば、音がうるさいなということだけではなく、例えば何時ぐらいにどんな音がしていたのかなという具体的な話も含めて是非お声がけいただければと思います。

町のことは役場だけがやるということではなく、町民の皆さんと一緒により良くしていきたいそんなパートナーであるとも私は考えていますので、是非これからも安心して暮らせるニセコを一緒に作り、時には一緒に考えてどうしたらもっとより良くなるかということと同じ目線で考えていきたいというふうに思っております。以上でございます。

（２）ニセコ小学校５年 前川 旺太・小口 雄正 「綺羅乃湯」について

前川議員

小口議員：綺羅乃湯のサウナと水風呂のスペースが狭いから広くしてほしいです。

理由は、いつも人がたくさんいて入れない時があるからです。

商工観光課長：綺羅乃湯のサウナと水風呂についてご質問いただきありがとうございます。質問からお二人とも綺羅乃湯を利用していただき、そしてもっと良くしたいなという思いがあることが分かりました。綺羅乃湯を運営している人たちもとても喜んでいと思います。

ご質問のとおり、サウナや水風呂がもっと広ければ、確かに今よりもっと気持ちよく過ごせますね。

サウナや水風呂を広げるためには、隣の壁を壊したり、露天風呂の場所を変更したりなどする必要があり、施設を大きく作り変えるには、何千万円という非常にたくさんのお金がかかります。修繕には町民皆さんから集めた大切なお金や税金を活用するので、公営住宅や水道、学校の修理など、町全体の色々な使い道とのバランスを考えればなりません。

そのため広さを変えることは難しいのですが、実は令和６年に、今ある設備の中で、もっと満足してもらえようとサウナの改修（リフォーム）を行なっております。サウナの壁や床を新しくして、気持ち良く過ごせるように、また新しいストーブに

変えたことで、今まで以上にしっかりと温まることができるようになっています。広さをすぐに変えることは出来ませんが、混んでいるときにどうすればみんなが快適に過ごせるか、例えば「ゆずりあいのポスター」を作るなど、お金をかけすぎなくても出来るアイデアをこれからも考えていきたいと思っています。前川議員と小口議員も、もしこうすればもっと使いやすくなるよというアイデアがあれば是非教えていただければと思います。

また、綺羅乃湯が混んでいるのか空いているのか分かるように、浴場のリアルタイム混雑状況を綺羅乃湯のホームページから確認できますので、お風呂に行くときには参考にしてみてください。ご質問ありがとうございました。以上です。

マッケイ議長：再質問はあるか

前川議員・小口議員：とくになし

副町長：副町長の山本です。前川議員と小口議員の質問、大変ありがとうございます。

綺羅乃湯をもっと良くしたいという気持ちで質問してくれてとても頼もしく感じます。

綺羅乃湯は、町民みんなの大切な場所で使う人の声があるからこそ、よい施設に育っています。担当課が答えたように、広げる工事は大きなお金が必要で、簡単ではありません。ただ、昨年の改修工事のように、今できる改善を積み重ねることはできます。

皆さんが提案してくれたことは、町が次に何を考えるべきかの出発点になります。

混んでいるときの工夫、それから譲り合いのルールなど、お金をかけずにできるアイデアは皆さんの力でどんどん生まれてくるものだというふうに思います。

これからも綺羅乃湯を使う人の代表として、気づいたことを是非教えていただきたいと思います。今日は質問ありがとうございました。

(3) ニセコ小学校5年 西口 陽樹・高橋 風輝 「除雪車」について

西口議員

高橋議員：除雪車を運転する人を増やしてほしいです。

理由は、朝起きると車が通る道に雪が積もっているので、除雪車を運転する人を増やしてほしいです。

都市建設課長：西口議員と高橋議員のご質問にお答えします。

この問題については、私の中で一番重く捉えている問題なので、ご質問ありがとうございます。皆さんが安心して学校に行けるようにするには、除雪は大切な仕事です。ただ、朝の4時くらいから起きて、雪が降れば土曜日・日曜日でも作業をしないといけないので、特に若い人には人気のない職業です。

ニセコ町では、次の担い手を探すために、運転手の資格を取得する際の費用を最大22万円まで補助するので、おそらく日本の自治体で一番高い金を助成しております。また、特命委託型地域おこし協力隊という、除雪運転手だけの募集もしております。西口議員と高橋議員が大人になりましたら、ニセコ町のために是非とも除雪運転手になっていただきたく思っておりますのでよろしくお願いします。

マッケイ議長：再質問はあるか

西口議員・高橋議員：とくになし

町 長：今の議員の質問に対して少し補足をさせていただければと思います。

今課長からもありましたが、ニセコ町としては、相当全国の中の自治体の中でも、補助というところにおいては力を入れて、あるいはその他の方法も含めて、町を挙げて取り組まないといけない課題の1つだと感じています。

ただ、それでもなかなか、人手不足というところが現状はまだまだ足りていないというところもあります。

もちろん先ほど、我々も来ていましたが、皆さんが大きくなったときに、町を支えるそんな仕事を選んでいただけるというようなところも、非常にありがたいというふうに思っていますし、今日この場で勇気を持って質問をしていただいたことが、結果的にはただの要望だけではなく、まちの未来を支えていくように考えるきっかけ、あるいは知ってもらえるきっかけになったのかなということも含めて非常にありがたい質問だったなというふうに思っています。

あとは、なかなか今日の議員の皆さんが接する機会少ないかもしれませんが、先ほど音がしていましたよね。この冬の期間、本当に多くの方々が除雪をしてくれています。

もちろん除雪だけではないですが、町のことを当たり前だと思っていることを、誰かが仕事として引き受けてくださっているので、当たり前に使えるということにぜひ感謝の気持ちを持って、役場や町の中ですれ違うことがあれば、あるいは親御さんの中でそのような、仕事に従事されている方が身近にいれば、是非ありがとうございますと皆さんから気持ちをお伝えしていただけると、きっと今運転していただけている方も決して楽な仕事ではないんですが、もうちょっと続けようかなと思ってもらえるんじゃないかなと思っていますので、是非感謝の気持ちをお伝えしていただくこともお願いできればと思います。以上です。

（４）ニセコ小学校５年 浅川 桃百・手老 楓花 「ちびっこ広場」について

浅川議員

手老議員：ちびっこ広場にゴミ箱が欲しいです。

理由は、最近観光客が増えてきてポイ捨てが多くなってきていてちびっこ広場が汚く見えるからです。

都市建設課長：浅川議員と手老議員のご質問にお答えします。

ちびっこ広場にゴミ箱を置いてほしいというご意見、しっかり受け止めています。広場が汚れてしまうというのは、町としてもとても大変な問題だと捉えています。ただ、他の市町村の事例を見ると、ゴミ箱を置くと家庭のゴミを持ち込まれたり、カラスに荒らされたりして、かえって広場が汚れてしまうことがあります。そのため、ニセコ町はまずはゴミは持ち帰るという方法で広場をきれいに保ちたいと考えています。先ほどの回答と同じですが、広報誌により広場でのゴミの持ち帰ることを周知するのと、見回りを増やしてポイ捨てを減らしていきたいと思っています。それでも改善されない場合は、看板の設置を検討していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

マッケイ議長：再質問はあるか

浅川議員・手老議員：とくになし

副町長：浅川議員と手老議員、ありがとうございます。

広場が汚れてるということやだなあということで終わらせるのではなくて、どうしたら綺麗になるだろうかということを考えて質問して下さったということ、大変すばらしいなと思います。ありがとうございます。

担当課の回答の通りでございますがごみ箱というものを置けば良いということではなかなかなくて、家庭ごみの持ち込みなどで逆に汚れるということがやはり残念ながらあるというのが現実です。

だからこそまずは持ち帰りを当たり前にするという仕組み、それからその見回りを強めていきたいというふうに思います。皆さんが綺麗な広場が良いと思うその気持ちは、町の品格を上げるというふうに思っております。

どういうことかという、私たち町民一人一人が、このまちがすばらしいまちなんだ、誇りを持てるまちなんだというような気持ちを持って、今のような活動をしてくださると私たち町民も観光客の皆さんも、この町はゴミを捨てない町なんだな、綺麗にしている町なんだなとみんなが誇りに思ってくれるそういう町になるんじゃないかなというふうに思います。もし、できることなら、持ち帰ろうということを伝えるような、例えばポスターを皆さんで考えてくれるとか、大人の人や観光客の人にもニセコに来たらゴミを持ち帰るんだなと分かってもらえるような何かそういう言葉を考えてもらおうとかすると、なおこの町が品格の高い町になるんじゃないかなと思いますし、みなさんの本気で真剣に考えた言葉というのは、本当に大人や観光客の皆さんには伝わると思うので、是非一緒に考えてくれたら良いなと思います。今日はありがとうございました。

(5) ニセコ小学校5年 長沼 八重・近藤小学校4年 村松 律佳

「町民プール」について

長沼議員

村松議員：町民プールを建て替えるか、リフォームしてほしいです。

なぜなら、汚れていたり、暑かったり、古いから変えてほしいです。

また、ロッカーを鍵付きのロッカーにしてほしいです。あと、着替える場所に入る入口にドアをつけてほしいです。

総合教育課参事：長沼議員、村松議員ご質問ありがとうございます。町民プールについてのご質問にお答えします。

町民プールについては、子ども議会においてこれまでもご質問いただいておりますので、何とかしたいと考えているところです。現在の町営プールは、63年前の1963年(昭和38年)に現在の場所に建てられたとても古い施設です。これまでに水槽にステンレス材をはったり、浄化装置の修繕、プールサイドの床面、屋根の骨組みや屋根のテントなどを直しながら大切に使ってきました。

新しくプールを建てるには、ものすごく多くのお金がかかります。お隣の倶知安町では、昨年からは新しいプールの建設工事が始まりましたが約38億円がかかっているそうです。本町ではプールだけでなく、他にも直したい、建て替えたい施設がたくさんあります。それらの施設を建てる順位付けを検討し、更には建設等

にかかるお金の工面をどうするかなどの問題を一つ一つ解決していかなければなりません。利用しているみなさんの意見を含めて、町全体として検討していきたいと思います。

リフォームについては、室内が暑いのはプールの水が冷たすぎないようにプールの水を温めるために室内を暑くしています。

そのため、室内の温度を調整できるようにするためには今の屋根だけでなく、周りすべてを直したり、プールの水を温めるための新しい機械が必要になります。そうすると、建物自体が大きくなってしまい、今のプールの場所では狭く、他の場所に新しく建てないとならなくなります。鍵付きロッカーについては、ロッカーを新しくするには更衣室が狭いので、中のロッカーを一度撤去してから直すことになります。お金と時間はかかりますが、現在の建物が非常に古いので、一部を壊して改修するためには、他の部分に影響がないかなどを確かめてみて判断したいと思います。

また、更衣室の入り口のドアについてですが、ドアをつけると空気の流れが悪くなって臭くなったりカビが生えやすくなります。また、更衣室で万が一具合が悪くなったり、事件が起きた時にドアがあると音や声が聞こえにくくなって、管理人が気づきにくくなります。

緊急時に管理人がすぐに中に入りやすいようにドアを付けていないのですが、未皆さんの要望についてもう少し聞き取りをして検討していきたいと考えますので、よろしくお願いします。

以上で、質問に対する答弁を終わります。

マッケイ議長：再質問はあるか

長沼議員・村松議員：とくになし

教育長：長沼議員と村松議員、ご質問ありがとうございます。

今のプールは、私が子どもの頃から使っていたくらい、相当古いなというふうに感じていて、皆さんからご質問いただいた部分が大変よく分かります。

これまでも何度かご質問いただいているので、私自身も何とかしたいなと思っていますし、近隣の町村のプールも参考にしながら取り組んでいきたいなというふうに思っております。今回、皆さんから何とかプールを改善してほしいという言葉、そして実際に使っている皆さん方の立場や視点の質問や意見というのは大変参考になります。是非今後のプールをどうするかということについては、実際に使っている皆さん方の趣旨あるいは改善点という具体的な立場、ご質問や改善への要望というのを生かして、今後も検討していきたいと思います。

担当課からも話はありましたけども、プールを建て替えるとなると、大変なお金もかかります。けれどもやはりニセコ町の子どもが喜んで楽しめる場所については、今後幅広く検討していきたいと思います。

ご質問本当にありがとうございました。

(マッケイ議長からクレイドン副議長へ交代)

(6) ニセコ小学校5年 二瓶 彩来・湯浅 すみれ 「運動会の競技が少ないこと」について
二瓶議員

湯浅議員：運動会が午前中だけで競技が終わってしまつてつまらないので、競技を増やしてほしいです。騎馬戦などスリルのあるものや、借り物競争、パン食い競争など楽しいものをやりたいです。

それに、みんなでお昼ご飯を食べて、午後の競技を楽しみたいです。

総合教育課長：湯浅さん、二瓶さんの運動会の質問にお答えします。

まず、競技種目についてです。提案いただいた種目の一つ騎馬戦は、昔大きな怪我をしてしまう事故が多く発生していました。こうした教訓を受けて、近年は運動会で取り返しのつかない事故を発生させないために、すべての競技で安全ということを大切にしています。騎馬戦であれば落下して怪我をするかもしれない、パン食い競争であればパンが喉に詰まって窒息するかもしれない、そういったリスクを十分に考えながら、先生方が競技を決めていることを理解してもらいたいと思います。

続いて、午後も楽しみたいという意見についてです。最近の運動会は午前中で終わることが主流になりました。これにはいくつかの要因がありますが、その一つは運動会や発表会など学校行事について、練習も含め行事にかける時間を見直し、日々の学習時間をきちんと確保するようにしていることがあります。これだけ聞くと行事が少なくなつて、勉強だけが増えてしまうと感じるかもしれませんが、しかし、勉強に充てる時間が増えた余裕を先生方は授業を詰め込みすぎにせず、ゆとりをもって皆さんが学習できるように取り組んでいますので、どうか安心して下さい。その他にも、熱中症対策や先生の働き方改革、家庭のお弁当作りの負担を減らすといったこともあり、運動会を午前の開催としていますのでご理解ください。

今回は運動会について提案をしていただきありがとうございました。運動会を楽しみにしている二人の気持ちが伝わってきました。説明したように先生方や保護者の皆さんがそれぞれの思いや考えがある中で、学校はよりよい運動会について考えていますが、子どもたち皆さんの声もとても大切です。昔と同じ競技はできないかもしれませんが、安全に配慮したやり方はないかなど、先生方は相談に乗ってくれると思います。安全を守りつつ、楽しめる運動会について一緒に考えてみたいと思いますので、これからもどしどし提案をしてください。よろしくお願いします。以上です。

クレイドン副議長：再質問はあるか

二瓶議員・湯浅議員：とくになし

教育長：湯浅議員、二瓶議員ご質問ありがとうございました。

皆さんが運動会楽しみにしているという気持ちがとってもよく伝わり、何とかしてほしいという気持ちを大切にしたいというふうに思っております。

今、担当の課長から答弁ありましたけども、今はどうしても安全面ですとか学習時間ですとか熱中症だとか色んなことがあり、そういう安全面を大事にするということがあつて、学校も悩みながら色んな種目を検討したりしているというふうに思っております。

かといって、あれもダメこれもダメでは困るので、学校としても皆さんが思っているようにどうあれば学校が楽しくなるかということを、しっかり考えていただいているというふうに思います。今日は、小学校や中学校、インターナショナルの校長先生も来ています

ので、是非そういった思いは発言して、今回こういう議会でも発言していただいていますけれども、伝えるということはとても大事なことだと思います。

伝えた上で検討していただいて、出来る場合もあれば出来ない場合もありますが、長い時間かけてきちっと伝えることがニセコ町全体のまちづくりにも繋がるし、運動会ももしかしたら色んな種目を工夫してくれるんじゃないかということを思っております。

何とかより良い学校行事を作れるように出来る主体は子どもたちや生徒の皆さんです。是非これからも学校あるいはこういう機会で自分たちの思いや意見をしっかり伝えていただければと思います。そういったことを受け止めて、学校のほうも検討していただければと思います。本日のご質問ありがとうございました。

(町長別業務のため、10分間の暫時休憩)

(7) ニセコ小学校5年 佐藤 茉里花・岡田 美乃里 「ちびっこ広場の遊具」について
佐藤議員

岡田議員：ちびっこ広場に高学年でも遊んで楽しい遊具を作ってほしいです。

理由は、3歳～5歳くらいの遊具が多く、高学年が遊んでもすぐ飽きてしまうものが多く、年齢制限のある遊具がたくさんあるので、高学年でも飽きない遊具が欲しいです。例えば、難しいうんていや高い鉄棒やアスレチック系の遊具が欲しいです。

都市建設課長：佐藤議員と岡田議員のご質問にお答えします。

ちびっこ広場は、もともと小さなお子さん向けの公園として整備された公園で、現在設置されているほとんどが、高学年の人が同じスペースで遊ぶとなると、小さなお子さんが怪我をするという事例もありますので、安全面を考えると別なスペースに遊具を設置することが必要となります。

現段階では検討はしていないのですが、今後公園全体の整備を進める中で、高学年皆さんが安心して遊べる場所をどう確保するか、どのような遊具を設置するかなど検討していきたいと考えております。よろしくお願いします。

クレイドン副議長：再質問はあるか

佐藤議員・岡田議員：特になし

町 長：ただいまの質問に対して補足をさせていただきます。

今回のまず、ご質問というところで遊具の部分でございます。

今担当からも回答があったとおりではありますが、ちびっこということもあるのでおそらく小学校だと低学年くらいあるいは小学校入る前の子どもたちがもともと中心の公園なのかなと思っています。ただ、高学年の皆さんからすると、物足りないよということだと思いますが、このちびっこ広場をこれからどう再整備をしていくかも含めて、町としてもしっかりと検討して、このちびっこ広場以外の場所も含めて子どもたちの皆さんが安心して遊べるようなあるいは学校が終わった後にも過ごせるような場所の整備ということも、広い目でしっかりと検討していきたいと思っています。

その際には、今回質問の中にもありましたが、例えばこんながあると良いなとか、例えば近隣の町でも、こんな遊具で遊んだけど良かったなとか、是非そういった子ども議員の皆さんならではの要望があれば教えてもらいたいです。ただ遊び場が欲しいなというよりも、こういう遊具があると高学年の子どもも小学校の中でも小さい子どもと遊べるよなど、是非そういったようなところまで一緒に考えてくれると、町の計画がぐっと現実に繋がるのかなと思いますので、是非、皆さんならではのご意見ご要望もいただければというふうに思っております。以上でございます。

(8) ニセコ小学校5年 清水 みちる・近藤小学校4年 千葉 さら花

「ちびっこ広場」について

清水議員

千葉議員：ちびっこ広場のポイ捨てをやめてほしいです。

なぜなら、犬や小さい子どもが触ったり、食べてしまう可能性があるからです。

都市建設課長：清水議員と千葉議員のご質問にお答えします。

ちびっこ広場のタバコのポイ捨てについて教えてくれて本当にありがとうございます。小さい子どもたちや犬が落ちているタバコを触ったり、間違っって口に入れたりしたら大変ですよ。皆さんの心配はよく分かります。

今後の対応として、広報誌で公園マナーを呼びかけます。そして、建設課でも見てまわると、維持管理をお願いしている業者にもゴミが落ちていないかこまめにチェックをお願いいたします。

看板を設置するという方法もあるのですが、雪の影響で文字が消えたり支柱が折れたりするので、どうしてもポイ捨ての状況がひどい場合、設置の検討をしたいと考えております。よろしくお願いします。

クレイドン副議長：再質問はあるか

清水議員・千葉議員：特になし

副町長：清水議員と千葉議員、ご質問ありがとうございます。

危険をきちっと想像して、小さい子や犬が口に入れたらと考えられるということは、すごく大切な気づく力だと思います。本当にありがとうございます。

町の安全は、こういう気づきから守られていくものだというふうに思います。

担当の課が答えたとおりでございますが、広報での呼びかけ、見回り、管理事業者さんと連携をして対策を進めていきたいというふうに考えております。看板についても、状況をみて検討させていただきます。

そして何よりも、皆さんがこうして問題を言葉にしてくれたことで、これは放っていけない課題だと町が再認識したということもとても大事なご指摘だというふうに思います。

これからも、危ないことや困っていることを見つけたら遠慮なく伝えていただきたいと思います。皆さんの声は、町の安全のために大変役立つことになると思いますので、そこは遠慮せずにご指摘をいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

(9) ニセコ小学校6年 マッケイ 瑠生・ニセコ小学校5年 二唐 研
「町民センター」について

マッケイ議員

二唐議員：町民センターに水飲み場とペットボトル以外を捨てられるゴミ箱を設置してほしいです。

理由は、喉が渴いた時に水を飲みたいからです。また、ゴミを捨てたくてもゴミ箱がなくて捨てられないからです。

町民生活課長：マッケイ議員、二唐議員の質問にお答えします。

水飲み場については、各階に給湯室がありますのでそこで水を飲むことができますのでご利用ください。また、ゴミ箱については町民センター受付窓口のところに設置しました。特に分別などしなくても捨てれるゴミ箱にしましたが、使用状況によっては撤去をしなければならなくなりますので、皆さんで綺麗に使ってほしいと思っています。よろしくお願いします。

クレイドン議員：再質問はあるか

マッケイ議員・二唐議員：特になし

町 長：ただ今のご質問に補足をさせていただきます。

まずは、困っている人がいるのではないかと考えてご提案いただいたことが素晴らしいと思います。公共施設というのは、だれでもみんなで使う場所だということです。誰かだけが便利に使えるということではなく、多くの方々が利用するからこそ小さな不便や扱いにくいなど、そういったことが積み重なっていくと、結果として全体としても使いにくい施設になってしまいます。

今回、担当課からもありましたが、そもそも給湯室という場所では水が飲めます、そしてこういうご意見もいただいたので、早速答弁する前にもうゴミ箱を設置しましたということで皆さんから、この質問以外もそうですが質問や声をいただいて、少しずつだと感じることもあるかと思いますが、より良くして改善に繋がった部分もあります。

ここからが、とても私は大事なことなのかなと思います。使う人がみんなで綺麗に使っていくということが大切なのかなと思います。もし、ゴミ箱を今回設置してみました。結果ゴミが増える、あるいは皆さんからはないと思いますが、家のゴミを持ってくるとか、学校で出たごみを入れちゃおうとか、結果的にゴミ箱が溢れてしまって、やっぱりゴミ箱あると良くないよねというふうになってしまう可能性があります。ですので皆さんも一緒に、どうやったら綺麗に使えるかということを考えていきたいなと思いますし、ついついちょっとぐらいいいかと思ってしまう場面も子どもに限らず大人もあると思いますが、その積み重ねが結果として使いにくい公共施設になってしまうということも是非心の中にとどめていただけるといいなと思います。

ぜひ提案して終わりじゃなくて、どうしたらもっと良い使い方ができるかということと一緒に考え、一緒に取り組んでいきたいなというふうに思っております。以上です。

(10) インターナショナルスクール5年 長谷川 愛和・インターナショナルスクール4年 山口 慧

「町内にゴミ箱を置きたいこと」について

長谷川議員

山口議員：私たちが町内にゴミ箱を置きたい理由は、ゴミ箱を置くことで少しでも町内のゴミを減らしたいからです。まず1つ目に、お手元にお配りしている資料を見てもらうと分かるように、ゴミが出ている原因はポイ捨てだということが分かりました。そこで、私たちが「ゴミ拾いで集めた場所で一番ゴミが多かった場所にゴミ箱を置けば、少しでも町内のゴミを減らせると思ったからです。

町民生活課長：長谷川議員、山口議員のご質問にお答えします。

皆さん実際にゴミ拾いをして現状を調べたうえでゴミが多い場所にゴミ箱を置けばゴミを減らせるという考え、とても前向きで素晴らしいと思います。ただ、ゴミの多い場所は人目に付きにくい場所が多く、そこにゴミ箱を置くと分別もされていない関係ないゴミまで捨てられてしまい新たなポイ捨てや不法投棄の場所になる可能性があります。また、そのゴミ箱の維持管理を誰がどのようにするかなど課題もあります。

ゴミのポイ捨ての問題は、全国的な問題となっております、これといった決定的な解決策がない状況となっております。ただ、きれいな場所にはゴミを捨てにくいという効果もあり、皆さんが続けているゴミ拾い自体が、ポイ捨て防止になっている可能性が大いにあります。ニセコ町としては啓発看板の設置やホームページなどポイ捨て防止の呼びかけなどと定期的な清掃活動の継続をしていき、少しでもゴミのない綺麗な街にしていきたいと考えていますので、これからも皆さんのご協力をよろしくお願いします。

クレイドン副議長：再質問はあるか

長谷川議員・山口議員：特になし

副町長：長谷川議員と山口議員、大変ありがとうございます。

自分たちでゴミ拾いをして、そのゴミが多い場所まで調べたうえで提案してくれたということ、これについては心から敬意を表します。それからもう一つ、このプレゼンテーションを出してくれて活動に裏付けされているということはとても説得力がありました。構想してから考えていくという点が本当に素晴らしいというふうに思います。

担当課が答えたとおり、ゴミ箱は置き方を間違えると管理も必要になるということがあります。ただ、皆さんの活動には綺麗な場所にはゴミを捨てにくいという大きな効果があったと思います。皆さんがゴミを拾っているところで、それを見た人たちが皆さんの前でポイ捨てをするというこは、やはりそういう気持ちにはなれないということで相当な説得力があると思います。町としても、啓発や清掃を続けて参りますが、皆さんのような活動は

町の景色だけでなく、人の気持ちを変える大きな活動だなというふうに感じます。次の一歩としてもしできるならば、どんな場所ならゴミ箱が荒れにくいとか、だれがどんな人数で管理できるかまでまとめた提案を一層していくということになれば更に現実に近づくといいように思います。このような皆さんの探求を町としては是非応援したいものですので、今後も継続していただければありがたいなというふうに思います。

大変良い質問をしてくれてありがとうございます。

(11) ニセコ中学校1年 桑原 謙周

「日本人の人々の生活を良くするには何をすれば良いのか」について

桑原議員：日本をより良い国にするために、個人で何かできることはありませんか。

理由は、日本が好きなのに税金ばかり高くなって国民や町民が困窮しているのが我慢できません。まずはニセコから、どんどん広い範囲の人の生活を良くするには何ができますか。

こども未来課長：まずは、ご質問ありがとうございます。

日本や町の将来を心配し、真剣に考えていただいていることにまず心より感謝します。桑原議員はじめ中学生の皆さんがこうした視点を持ってくださっていることは地域にとって大きな力になります。

確かに、物価が上がったり働く人の負担が大きくなったり、暮らしや将来に不安を感じる場面が増えていきます。国でも今、いわゆる物価高騰対策として様々な施策が講じられているところではありますが、ニセコ町としても住民の生活を守り安心して暮らせる地域を作ることとはとても大切な使命です。

住民の皆様の経済的な負担を減らすために、例えば一部紹介しますと、子育て世代の皆様には、高校生までの医療の完全無償化、令和7年度からは小中学生の給食も無償化になりました。また、高齢の皆様には灯油の助成や除雪の支援、綺羅乃湯の入館料の助成、全町民に商品券の配布を行うなど、町民の皆様の生活が少しでも安定し、未来に希望が持てるよう町でも色々な取り組みを行っています。そして、桑原議員のように若い皆様にもできることも、実はたくさんあります。地域に関心を持ち、身の回りの課題を知ること、学校や地域でも活動に積極的に参加し、小さな改善や取り組みを積み重ねること、もちろん自分の将来の選択肢を広げるためにも勉強や様々な経験にチャレンジをすること、また町の良いところを見つけて外に発信することで、地域の元気の助けにも繋がったりすることもあると思います。今年度の子ども議会の始まりのオリエンテーションの時に説明しましたが、ニセコ町にはまちづくりの基本条例というものがある。ニセコ町のまちづくりは町民一人一人が自ら考え行動することによる自治が基本ですと記載されており、未成年の子どもたちもまちづくりに参加する権利が保障されています。この子ども議会もその取り組みの一つです。

今回の桑原議員のように、子ども議会の自ら参加し、声を上げ行動することは、その姿勢こそが町を強くし、日本を良くしていく原動力になると思います。

そして日本が好きという気持ちや現状を変えたいという情熱は日本の未来にとって最も大切な財産の一つだと思います。

これからも、町のことや日本のことに関心を持ち、私たちと共に良い町をつくってければと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

クレイドン議員：再質問はあるか

桑原議員：特になし

教育長：只今の桑原議員のご質問ありがとうございます。

質問の内容から、中学生として本当に子どもたちを代表するようなどとても素晴らしいご質問だったと思います。町は日本の将来や未来を考えていくということで、具体的にどうしたら良いかということで、実際に今日こうやって子ども議会で発言するということ、その構造自体がすでにそういう取り組みになっているというふうに思います。

担当課長の方からは、ニセコ町でやっている政策等について具体的に色々説明しましたが、やはり若い世代の皆さんが真摯に思っていることを実際に行動し考え、意見発表するという取り組みがとても大切だなというふうに思っています。私たちニセコ町役場職員も、是非皆さんのそういった真摯な思いや色んな提案等を受け止めて、これからのニセコ町のますますの発展やまちづくりに取り組んでいくということで考えていきたいと思いますので、本日の桑原議員の質問本当にありがとうございます。是非、これからも頑張っていたいただければと思います。

町 長：親御さんはじめ、我々大人もすごく考えさせられるような質問だったので、私からも発言させていただければと思います。

何となく不安だということは、これはきっと子どもたちだけでなく私たち大人も今すごく感じているのではないかと思います。特に子どもを育てる世代、私もそうですが、これからどうなるんだろう、自分たちの子どもあるいは孫たちの世代が、このままいくとこの社会がどうなるんだろうというのは、誰しもきっと思っていることなのかなと思います。その中で、今議員の皆さんのような子どもたちが何ができるのかなというのを、私なりの回答を少しだけ申し上げたいと思います。

その1つが、なぜなのだろうということを常に持つことを是非考えてみてください。なぜ子ども議会をやっているのかなとか、どうしてゴミ箱は置けないのかなということを、常日頃学校の中であるいは友達と遊んでいる最中などに何で勉強しないといけないのかなという、なぜという気持ちをぜひ忘れずに持ち続けてほしいです。これは大人になっても是非なぜという気持ちを持ってほしいなと思います。この上で是非学び続けて欲しいと思います。勉強だけが学びではないと思います。遊ぶことも学びだと思います。行ったことがない場所に行ってみる、これも学びだと思います。やったことないことに挑戦する、これも学びだと思います。これは子どもだけではなく、いくつになっても学びというのは私も続けていけると思うので、今きっと色んな学びができる立場や環境だと思いますので、是非議員の皆さんには率先して学んでいただきたいなと思います。結果的にこの勉強だけじゃなくて、遊びも含めてどんどんやっていただきたいなというところが2つ目にあります。

そして3つ目、大人も一緒なのですが、是非日本、そしてニセコをより良くするためにど

うしたら良いか、何ができるかということで行くと、私は身近な人を幸せにしてほしいと思います。

皆さんの身近な人、例えば、家族、友達、学校で会う先生方や、学校で出会う同級生たち、習い事が一緒なお友達、身近な人っていうだけでも、きっと何人もいると思います。

まず、皆さん一人一人の身近な人をどうしたらハッピーにできるかな、どうしたらより良くなってもらえるかなということを、是非考えていただければと思います。例えば難しいことはないんです。ありがとうと感謝をすることを伝えるだけでも、それを全員がやれば私はすごい素敵な町、素敵な国になるんじゃないかなと思っています。まずは一人一人が身近な人、身近なことに感謝の気持ちを持つですとか、どうやったら身近な人を幸せにできるかなと思うことをやってほしいです。これは大人も実践していると思います。まずは自分の子どもたちあるいは先生方であれば教えている子どもたちや生徒たちがどうやったら幸せになるかなと思ってやっているんじゃないかなと思います。

こうやってほしいというような要望だけではなく、私はこうであるあるいは一緒にこういうことが出来ないかという視点も是非忘れずに持ってほしいなと思います。

こうしてほしいやああしてほしいということは出来るのですが、なかなかそれだけでは通用しない世の中に変化してきています。だからこそ役場に対しても今日たくさんのご質問をいただきましたが、是非私たちはこんなことが考えられるよ、こんなことが一緒にできるよという気持ちや視点を忘れずに持っていいただけると、結果として身近な人がより幸せになるとかなぜという気持ち持つことですか、学ぶということが続けていくそしてきっと皆さんは私たち以上に素敵な大人になっていってこのニセコや日本、地球というものや社会引っ張って行ってほしい、こんなきっかけになるこの機会になるといいなと思って発言をさせていただきました。以上でございます。ありがとうございます。

4. 閉会行事

(1) 教育長講評（片岡教育長）

子ども議会本当にお疲れ様でした。

皆さんの一生懸命な気持ちがとても良く伝わってきました。緊張もして大変だったと思いますが、今は無事に終えて安心しているかと思います。今回は21名の多くの方にご参加いただきました。本当にありがとうございます。ニセコ小学校、近藤小学校、ニセコ中学校、インターナショナルスクールの生徒の皆さん、本当に多くお集まりいただいたということで、心から感謝したいと思います。

また、本日学校の関係者、校長先生、保護者のみなさんも熱心にご参加いただいているということで、多くの皆さんがこうして参加してくれたということは、ニセコ町を何とか良くしたいという強い思いの表れだなというふうに思っております。小中学生の皆さんのまちづくりの思いが伝わる質問が多くありました。役場職員としても、しっかりとその質問を受け止め、今後もまちづくりに生かしていきたいというふうに考え、今思う切実な質問や提案を、小中学生の視点で考えてくれて本当にありがたく思っています。

子ども議会は、先ほど担当課長の方からも触れておりましたが、ニセコ町のまちづくり基本条例に基づいて、子どもの意見の発表の機会ということで設定されています。今回、子ども議員の皆さんからニセコ町を何とか良くしたい、こうしたら改善できるのではないかなというそういう積極

的な姿勢が強く感じられるようなとても良い質問があったということで、大変嬉しく思います。

私自身、まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくりというふうに考えていて、皆さんのような若い世代の人たちも発表出来るようなそういったことを大切にしていきたいと思っております。

今回子ども議会を通して、率直な疑問や思いを発表していただきました。それらをニセコ町のまちづくりの方に是非とも活かしていきたいというふうに思っています。

今回子ども議会に参加した皆さんには、この貴重な体験を是非これからの生活に活かしていただいて頑張ってもらいたいというふうに思っております。

是非、今後ますます頑張って、よりニセコ町を良くしてもらいたいということを期待して、お礼としてご挨拶申し上げたいと思います。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

（２）閉会挨拶（田中町長）

改めて子ども議会お疲れ様でした。

どういうふうにこの 21 名が選ばれたのか分かりませんが、きっと勇気を持ってこの場に立ったのかと思います。議長と副議長も立候補したということで、本当にその挑戦が素晴らしいなと思っています。

実は、皆さんご存じかと思いますが、去年の 10 月から私も町長に就任して、この子ども議会も初めてこの立場で参加をさせていただいておりますが、私が町長になってから役場の中でも繰り返し言っているのが、挑戦をしようということを伝えています。今日の皆さんはきっと、少なからず挑戦をして質問を考えて発言をされたと思います。是非、この挑戦をしていくことは、先ほど私が長々と話してしまいましたが、学校生活でも是非挑戦していったほしいなというふうに思っています。

今日は、長時間ありがとうございました。お昼ごはんがあると思いますので、是非終わった後に

美味しくご飯を食べて、また元気よく来週から学校生活に参加していただければと思います。今日は本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

（３）記念写真撮影